

LEDモールライト用ミリ波センサアダプタ

保管用

組合せ品番	灯具品番	ミリ波センサ アダプタ	適合ポール
モールライトXY4217LF9	NNY (NNYH) 22317LF9	NNY (NNYH) 29000	φ76タイプ (3.5m) トクポールXY3719CHN トクポールXY3702HN YD (YDH) 3509HNK
モールライトXY4218LF9	NNY (NNYH) 22318LF9		
モールライトXY4219LF9	NNY (NNYH) 22319LF9		
モールライトXY4247LF9	NNY (NNYH) 22387LF9		
モールライトXY4248LF9	NNY (NNYH) 22388LF9		
モールライトXY4249LF9	NNY (NNYH) 22389LF9		
モールライトXY4417LF9	NNY (NNYH) 22342LF9		φ76タイプ (4.5m) トクポールXY4719CHN トクポールXY4550CHN YD (YDH) 4509HN YD (YDH) 4549CHNK
モールライトXY4418LF9	NNY (NNYH) 22343LF9		
モールライトXY4437LF9	NNY (NNYH) 22347LF9		
モールライトXY4438LF9	NNY (NNYH) 22348LF9		
モールライトXY4267LF9	NNY (NNYH) 22327LF9		
モールライトXY4268LF9	NNY (NNYH) 22328LF9		
モールライトXY4269LF9	NNY (NNYH) 22329LF9		
モールライトXY4297LF9	NNY (NNYH) 22397LF9		
モールライトXY4298LF9	NNY (NNYH) 22398LF9		
モールライトXY4299LF9	NNY (NNYH) 22399LF9		
モールライトXY4237LF9	NNY (NNYH) 22137KLF9	NNY (NNYH) 29005	φ76タイプ (3.5m) トクポールXY3719CHN トクポールXY3702HN YD (YDH) 3509HNK
モールライトXY4238LF9	NNY (NNYH) 22138KLF9		
モールライトXY4239LF9	NNY (NNYH) 22139LF9		
モールライトXY4277LF9	NNY (NNYH) 22195LF9		
モールライトXY4278LF9	NNY (NNYH) 22196LF9		φ76タイプ (4.5m) トクポールXY4719CHN トクポールXY4550CHN YD (YDH) 4509HN YD (YDH) 4549CHNK
モールライトXY4287LF9	NNY (NNYH) 22147KLF9		
モールライトXY4288LF9	NNY (NNYH) 22148KLF9		
モールライトXY4289LF9	NNY (NNYH) 22149LF9		
モールライトXY4257ZLF9	NNY (NNYH) 22165ZLF9	NNY (NNYH) 29010	YD (YDH) 4501HN
モールライトXY4258ZLF9	NNY (NNYH) 22166ZLF9		
モールライトXY4259LF9	NNY (NNYH) 22167LF9		
モールライトXY4259ZLF9	NNY (NNYH) 22167ZLF9		
モールライトXY4457ZLF9	NNY (NNYH) 22175ZLF9		
モールライトXY4458LF9	NNY (NNYH) 22176KLF9		
モールライトXY4458ZLF9	NNY (NNYH) 22176ZLF9		
モールライトXY4459LF9	NNY (NNYH) 22177LF9		
モールライトXY4459ZLF9	NNY (NNYH) 22177ZLF9		

※上記 () 内は加工品番です。(以降、加工品番の記載を省略します。)

※灯具・ポールの取扱説明書は別途灯具・ポールにそれぞれ添付しております。必ずご参照ください。

器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 施工は施工説明書にしたがい、確実に行う。施工に不備があると、発火・感電・落下の原因となります。
- 接地工事（D種接地工事）を確実に行う。接続に不備があると感電の原因となります。【電気設備技術基準】
- 器具の改造は、絶対に行わない。発火・感電・落下の原因となります。
- 振動や衝撃の多い場所（橋や高架上等）、腐食性ガスの発生する場所、海岸隣接地域では使用しない。
器具の落下や絶縁不良による感電およびポールの折れの原因となります。
- ポールは専用のものを必ず組合せて使用する。
- 下向き取付専用器具です。上向き、横向きには取り付けない。浸水による器具の落下・感電の原因となります。
- 口出し線の接続は、スリーブ等により確実にを行い、自己融着テープを巻いてから絶縁テープを巻いて仕上げ、十分に絶縁・防水処理をする。接続が不十分であると感電の原因となります。
- 前面ガラス・グローブに衝撃を加えない。破損する恐れがあります。

⚠ 注意

- 一般屋外用器具です。それ以外の場所では使用しないでください。感電・発火・落下の原因となります。
- 60m/s仕様です。これ以上の風速の影響を受ける場所では、使用しないでください。
器具落下、ポールの折れの原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）で使用してください。指定外の電源電圧で使用すると、感電・発火の原因となります。
- ケーブルは600Vビニル絶縁ビニルキャブタイヤケーブル又は600V二種EPゴム絶縁クロブレンキャブタイヤケーブルと同等以上の性能を有するものを使用する。適合ケーブル径はΦ10.6~Φ13.0mmです。（3芯：2mm²~3.5mm²、5芯：2mm²）指定外ケーブルを使用しますと浸水による感電・発火の原因となります。
- ポールにはしごをかけての施工や、バケット車が使用できないような場所では使用しないでください。
ポールのキズつき、傾き、施工中のけがの原因となります。バケット車での施工、メンテナンスをお勧めします。
器具を施工する際は、2人以上で作業を行ってください。
- 周囲温度は、-20℃~35℃で使用してください。又、施工時の一時的な点灯確認以外の日中点灯はしないでください。
不点や発火の原因となります。
- 寒冷地で使用する場合、つららが落ちると危険が生じるような場所に設置しないでください。
つらら落下による怪我の原因となります。
- 降雨、降雪の場合はセンサ検知し、100%点灯の状態となります。
（降雨量が少ない場合や、雨の降り方によっては、調光状態となる場合もあります。）
- スイッチを接地側に取付けた場合、ノイズにより消灯後もランプが薄暗く点灯する場合がありますので、必ず非接地側（電圧側）にお取付ください。（接地側の無い電源では両切りスイッチをお勧めいたします。）

各部のなまえと取付方法

警告

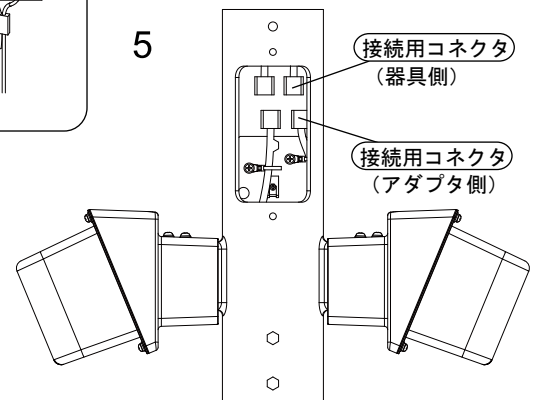
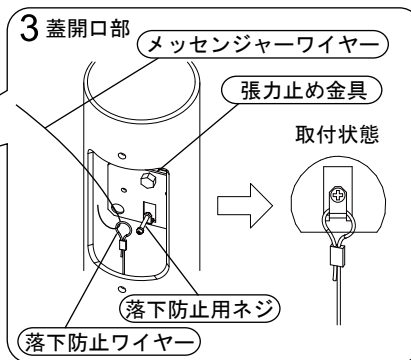
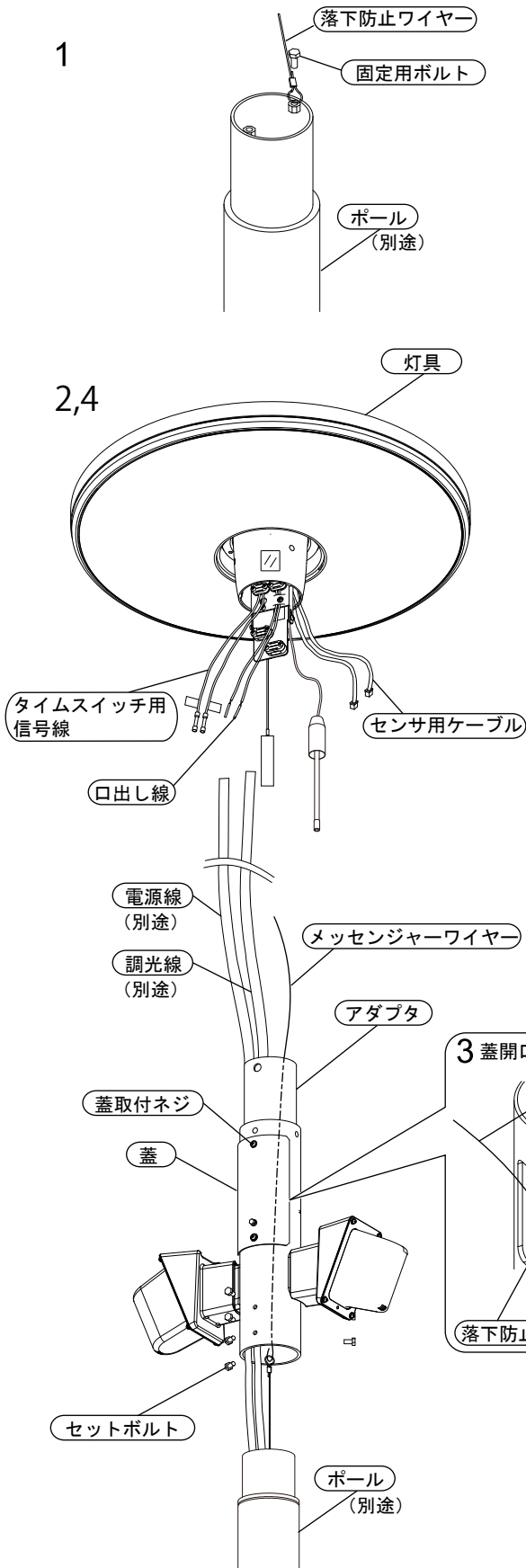
施工は、施工説明書にしたがい確実に行う。
不備があると落下・感電・火災の原因となります。

NNY29000 の場合

灯具の取付方法は灯具の取扱説明書をご参照ください。
外付タイムスイッチで動作する場合は別途調光線が必要です。

1. 落下防止ワイヤーをポールに取り付ける
 - ・落下防止ワイヤーを付属の固定用ボルトにてポールに確実に固定してください。
(推奨締付トルク M6 : 7.6N・m)
 - 不備がありますと、落下の原因となります。**
 - ・落下防止ワイヤーをメッセンジャーワイヤーにより引き上げ、アダプタに通しておく。
2. アダプタをポールに取り付ける
 - ・アダプタについているセットボルト (M6・6本) を緩める。
 - ・アダプタをポールに差し込み、セットボルトにて確実に締め付けてください。
(推奨締付トルク M6 : 7.6N・m)
 - 不備がありますと、落下の原因となります。**
3. 落下防止ワイヤーをアダプタに取り付ける。
 - ・アダプタの蓋取付ネジ (M6・2本) を取り外す。
 - ・先ほど引き上げておいた落下防止ワイヤーを、アダプタ内の張力止め金具に取り付ける。
 - ・張力止め金具の落下防止用ネジを締め、抜け止めを行う。
(推奨締付トルク M3 : 0.5N・m)
 - 不備がありますと、落下の原因となります。**
4. 灯具をアダプタに取り付ける

灯具の取付方法は灯具の取扱説明書をご参照ください。
不備がありますと、落下の原因となります。
5. センサ用ケーブルを接続する
 - ・器具側の接続用コネクタ2個と、開口部内に設けられているアダプタ側の接続用コネクタ2個を確実に差し込む。
 - 注) 2個の接続コネクタはどちらと接続しても問題ありません。
ツメの方向を合わせて2個とも確実に差し込んでください。
 - ・蓋を蓋取付ネジにて確実に固定してください。
(推奨締付トルク M6 : 7.6N・m)
 - 不備がありますと、落下の原因となります。**



各部のなまえと取付方法

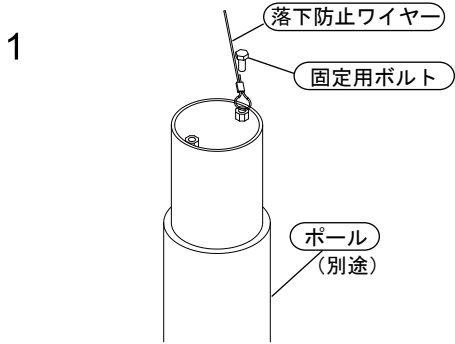


警告

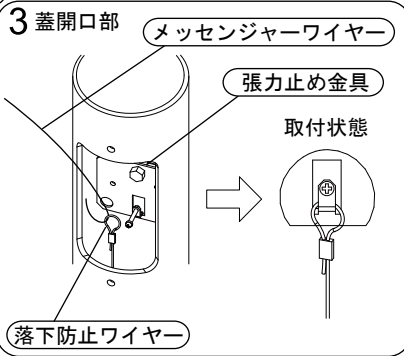
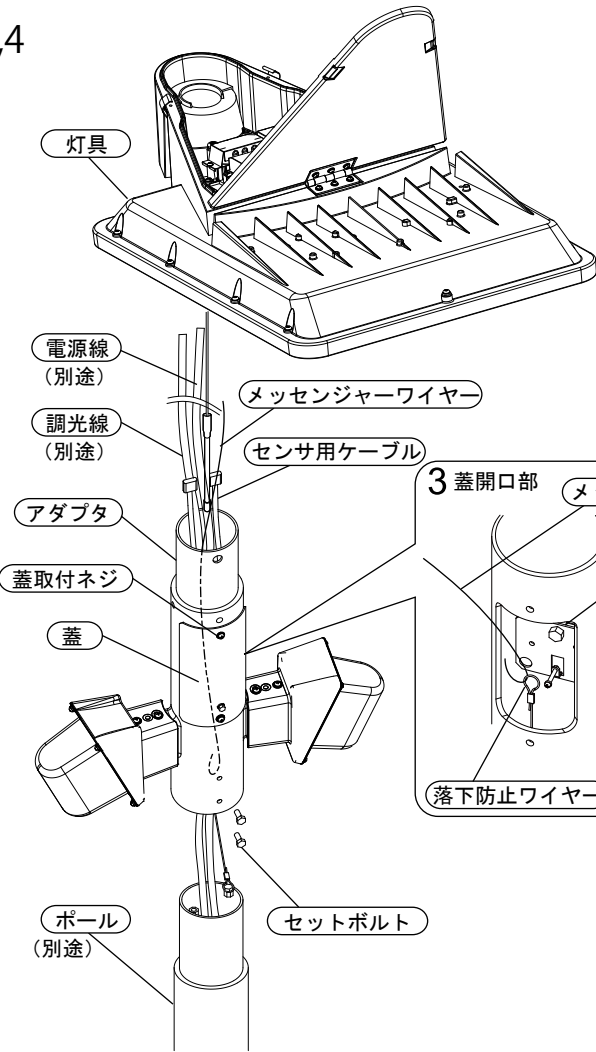
施工は、施工説明書にしたがい確実に行う。
不備があると落下・感電・火災の原因となります。

NNY29005 の場合

灯具の取付方法は灯具の取扱説明書をご参照ください。
外付タイムスイッチで動作する場合は別途調光線が必要です。



2,4

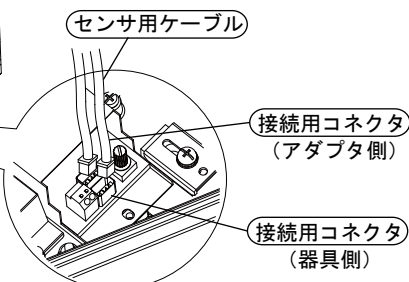
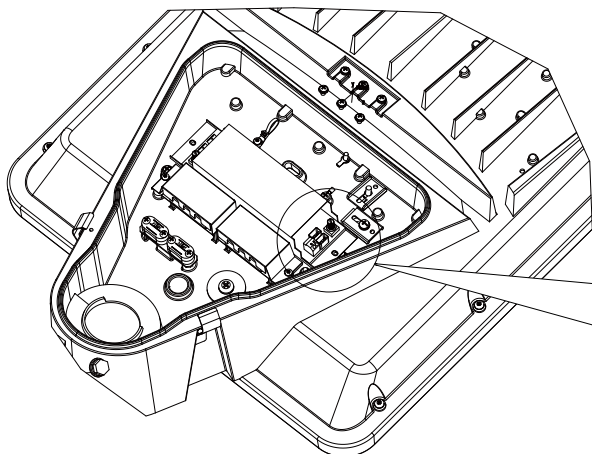


1. 落下防止ワイヤーをポールに取り付ける
落下防止ワイヤーを付属の固定用ボルトにてポールに確実に固定してください。
(推奨締付トルク M6 : 7.6N・m)
不備がありますと、落下の原因となります。
・落下防止ワイヤーをメッセンジャーワイヤーにより引き上げ、アダプタに通しておく。

2. アダプタをポールに取り付ける
・アダプタについているセットボルト (M6・6本) を緩める。
・アダプタをポールに差し込み、セットボルトにて確実に締め付けてください。
(推奨締付トルク M6 : 7.6N・m)
不備がありますと、落下の原因となります。

3. 落下防止ワイヤーをアダプタに取り付ける
・アダプタの蓋取付ネジ (M6・2本) を取り外す。
・先ほど引き上げておいた落下防止ワイヤーを、アダプタ内の張力止め金具に取り付ける。
・張力止め金具の落下防止用ネジを締め、抜け止めを行う。
(推奨締付トルク M3 : 0.5N・m)
不備がありますと、落下の原因となります。
・蓋を蓋取付ネジにて確実に固定してください。
(推奨締付トルク M6 : 7.6N・m)
不備がありますと、落下の原因となります。

4. 灯具をアダプタに取り付ける
灯具の取付方法は灯具の取扱説明書をご参照ください。
不備がありますと、落下の原因となります。
灯具を取り付ける際に、センサ用ケーブルも一緒に灯具内に引き込んでください。
5. センサ用ケーブルを接続する
・器具側の接続用コネクタ2個とアダプタ側の接続用コネクタ2個を確実に差し込む。
注) 2個の接続コネクタはどちらと接続しても問題ありません。
ツメの方向を合わせて2個とも確実に差し込んでください。



各部のなまえと取付方法



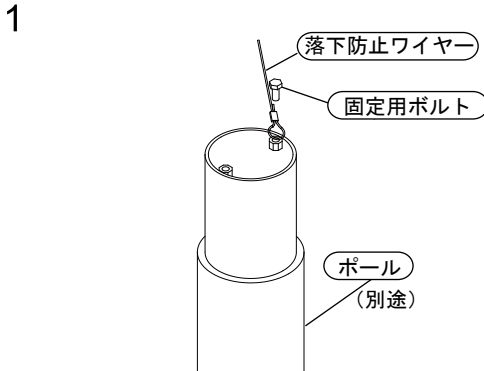
警告

施工は、施工説明書にしたがい確実に行う。
不備があると落下・感電・火災の原因となります。

NNY29010 の場合

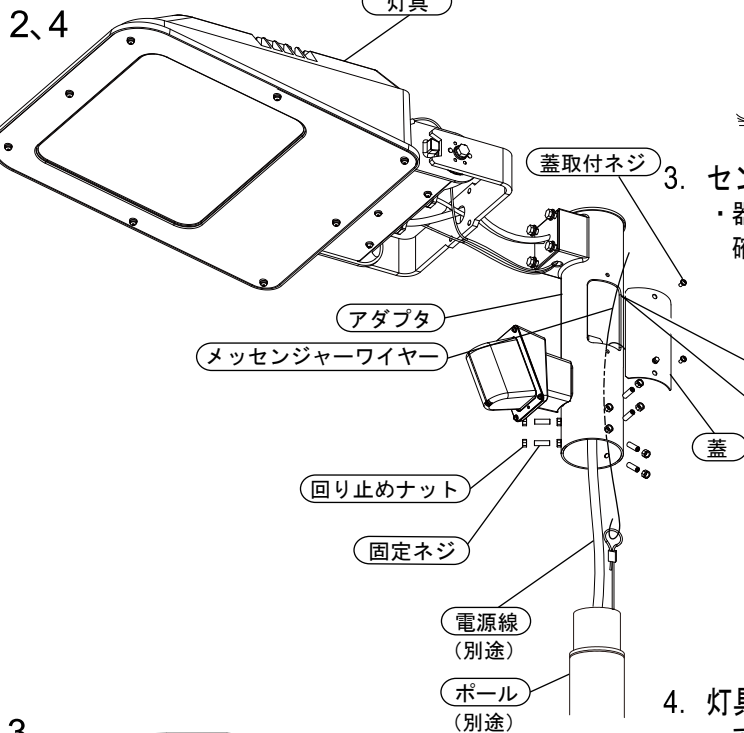
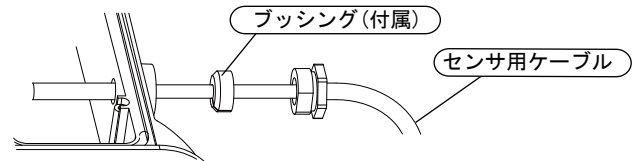
灯具の取付方法は灯具の取扱説明書をご参照ください。
外付タイムスイッチで動作する場合は別途調光線が必要です。

1. 落下防止ワイヤーをポールに取り付ける
 - ・落下防止ワイヤーを付属の固定用ボルトにてポールに確実に固定してください。
(推奨締付トルク M6 : 7.6N・m)
 - 不備がありますと、落下の原因となります。**
 - ・落下防止ワイヤーをメッセンジャーワイヤーにより引き上げ、アダプタの蓋を取り外し、アダプタの開口部に通しておく。

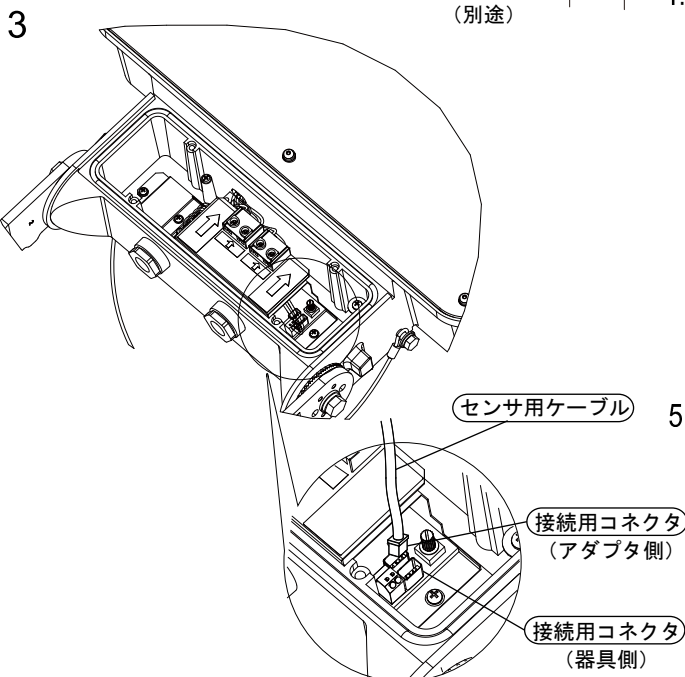
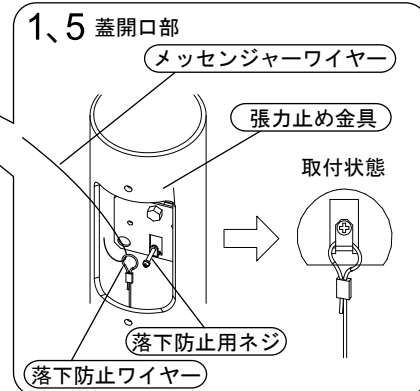


2. 灯具をアダプタに取り付ける

灯具の取付方法は灯具の取扱説明書をご参照ください。
灯具に電源線を引き込む際に、センサ用ケーブルも灯具に引き込んでください。灯具にセンサ用ケーブルを引き込む際は、アダプタに付属のブッシングを使用してください。
不備がありますと、落下の原因となります。



3. センサ用ケーブルを接続する
 - ・器具側の接続用コネクタとアダプタ側の接続用コネクタ確実に差し込む。



4. 灯具・アダプタをポールに取り付ける
 - ・アダプタについている固定ネジ (M8・6本) を緩める。
 - ・アダプタをポールに差し込み、固定ネジにて確実に締め付けてください。
(推奨締付トルク M8 : 18N・m)
 - ・固定ネジを締め付けた後、緩み防止の為、回り止めナット (M8・6個) を確実に締め付けてください。
(推奨締付トルク M8 : 18N・m)
 - 固定ネジ及び回り止めナットの締め付けが不十分な場合は、灯具落下・アダプタ回転・感電の原因となります。**
(固定ネジの締め付けにて、アダプタとポールの導通を取りますので、確実に締め付けてください。)
5. 落下防止ワイヤーをアダプタに取り付ける
 - ・先ほど引き上げておいた落下防止ワイヤーを、アダプタ内の張力止め金具に取り付ける。
 - ・張力止め金具の落下防止用ネジを締め、抜け止めを行う。
(推奨締付トルク M3 : 0.5N・m)
 - ・蓋を蓋取付ネジにて確実に固定してください。
(推奨締付トルク M6 : 7.6N・m)
 - 不備がありますと、落下の原因となります。**

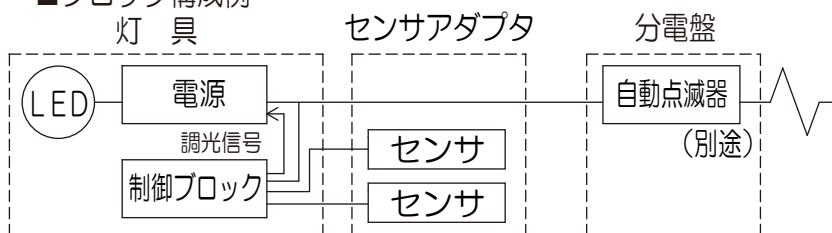
動作説明

電波式センサ・器具内蔵タイマー動作

★結線方法はページ3～5をご参照ください。

- 点灯から一定時間が経過すると自動的に段調光点灯を開始します。
段調光中もセンサ検知により一定時間100%点灯します。

■ブロック構成例



下記の項目を設定してください

●内蔵タイマー設定時間

- ・点灯から、常時100%点灯
- ・点灯から、常时段調光点灯
(点灯から1分間は100%点灯します。)
- ・点灯から、4時間後に段調光点灯
- ・点灯から、6時間後に段調光点灯
- ・点灯から、8時間後に段調光点灯

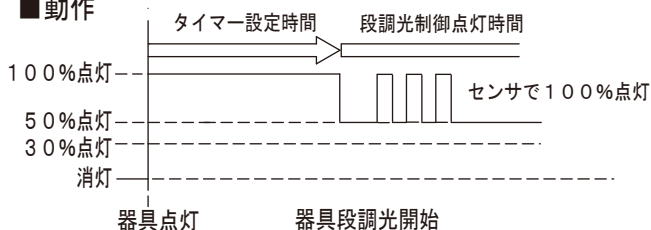
●段調光レベル

- ・50%点灯
- ・30%点灯
- ・0%点灯 (消灯)

●点灯保持時間

- ・10秒間
- ・1分間

■動作



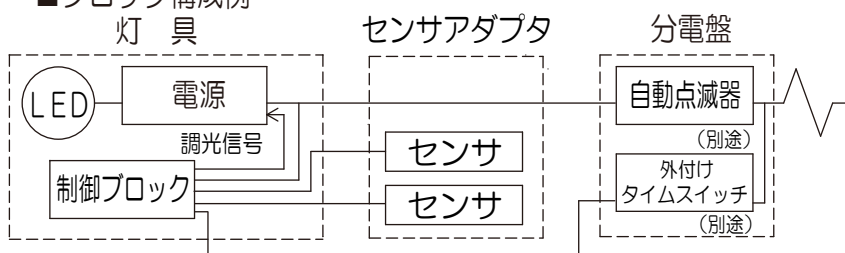
※器具電源の点灯、消灯は自動点滅器 (別途) 等で行ってください。

電波式センサ・外付けタイムスイッチ (別途) 動作

- 設定した時刻に段調光点灯を開始します。
段調光中もセンサ検知により一定時間100%点灯します。

★結線方法はページ3～5をご参照ください。

■ブロック構成例



AC100V~242V
分電盤から

下記の項目を設定してください

●外付けタイムスイッチ (別途)

- ・段調光点灯を開始させたい時間を設定してください。
※設定方法はタイムスイッチの取扱説明書にしたがってください。

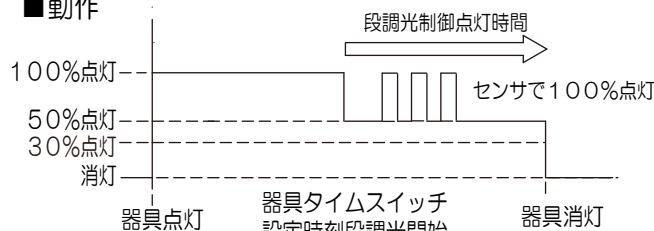
●段調光レベル

- ・50%点灯
- ・30%点灯
- ・0%点灯 (消灯)

●点灯保持時間

- ・10秒間
- ・1分間

■動作



※器具電源の点灯、消灯は自動点滅器 (別途) 等で行ってください。

スイッチ操作説明

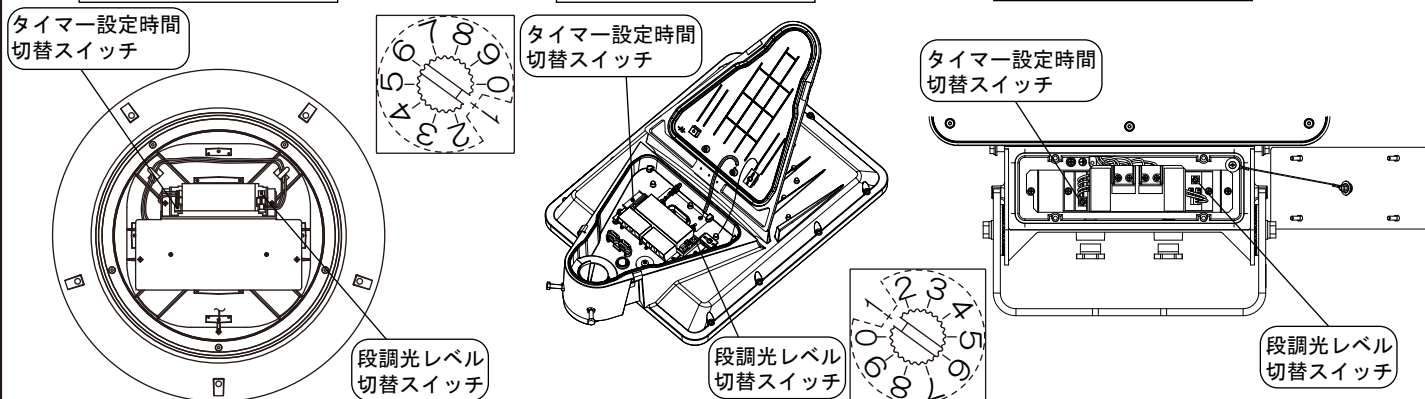
●工場出荷時の制御ブロックスイッチは、下記の設定にしております。

- ・タイマー設定時間切替スイッチ:『スイッチNo.1』
- ・段調光レベル切替スイッチ:『スイッチNo.1』

NNY29000 の場合

NNY29005 の場合

NNY29010 の場合



●タイマー設定時間切替スイッチについて

スイッチ No.	設定時の動作
1	タイムスイッチの信号が入ると段調光いたします。タイムスイッチの信号が無い場合は常に100%で点灯します。 ※タイムスイッチによる制御ができるのは『No.1』だけです。タイムスイッチによる制御を行う場合は、必ず『No.1』に設定してください。
2	内蔵タイマーにより動作します。点灯から1分間100%点灯します。1分後にセンサ調光します。
3	内蔵タイマーにより動作します。点灯から4時間100%点灯します。4時間後にセンサ調光します。
4	内蔵タイマーにより動作します。点灯から6時間100%点灯します。6時間後にセンサ調光します。
5	内蔵タイマーにより動作します。点灯から8時間100%点灯します。8時間後にセンサ調光します。
0、6～9	使用しません。設定しないでください。

●段調光レベル切替スイッチについて

スイッチ No.	設定時の動作
1	センサ非検知時(待機点灯時)は、50%に段調光します。センサ検知時100%点灯を10秒間保持します。
2	センサ非検知時(待機点灯時)は、50%に段調光します。センサ検知時100%点灯を1分間保持します。
3	センサ非検知時(待機点灯時)は、30%に段調光します。センサ検知時100%点灯を10秒間保持します。
4	センサ非検知時(待機点灯時)は、30%に段調光します。センサ検知時100%点灯を1分間保持します。
5	センサ非検知時(待機点灯時)は、0%に段調光(消灯)します。センサ検知時100%点灯を10秒間保持します。
6	センサ非検知時(待機点灯時)は、0%に段調光(消灯)します。センサ検知時100%点灯を1分間保持します。
0、7～9	使用しません。

[ご注意]

- ・内蔵タイマー動作中に停電した場合、停電までの動作を記憶しませんので動作がリセットされます。電源復旧後は再度内蔵タイマーによる動作を行います。
- ・点灯開始直後は、必ず100%点灯いたします。点灯直後からの段調光点灯はできません。
- ・0%の段調光(消灯)時に器具の電源をOFFにしますと一瞬点灯いたしますが、故障ではありませんのでご了承ください。

センサ検知性能

⚠ 注意

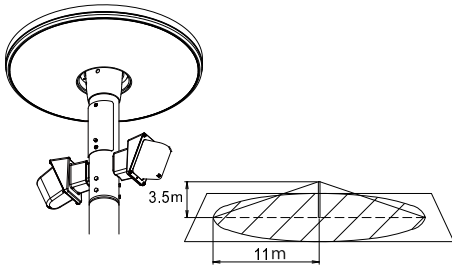
- 降雨、降雪の場合はセンサ検知し、100%点灯の状態となります。
(降雨量が少ない場合や、雨の降り方によっては、調光状態となる場合もあります。)

- 人の移動や低速で走行する車両など動体を検知するセンサです。
- 周囲の気温の変化にかかわらず検知が可能ですので、真夏など気温が体温に近づいた時でも検知性能に影響はありません。
- 検知範囲は人の移動速度、進行方向、器具の取付高さにより多少変化します。
記載の検知範囲はあくまで目安としてお考えください。
- 検知範囲に動体があると、人がいなくても検知することがあります。
 - ・ 降雨、降雪
 - ・ 噴水、池、川などの水の動きのあるもの
 - ・ 木や枝葉の揺れ、落ち葉
 - ・ 自動販売機
 - ・ エアコン室外機、換気扇などの可動部位
 - ・ 他光源の点灯時
 - ・ 電線の揺れ
 - ・ 旗やのぼり等の動きのあるもの
 - ・ 犬や猫等の小動物や虫 等
- また、上記動体がある場合や設置環境により、検知範囲が狭まる可能性があります。
- センサからの電波を遮蔽する障害物がある場合は、対象物を検知できない場合があります。

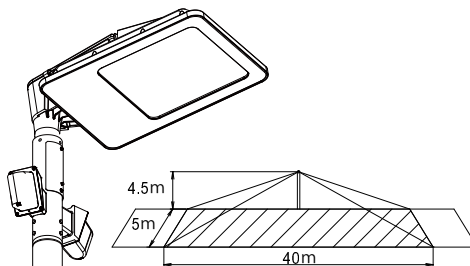
センサ検知範囲

- センサの検知範囲は高さ4.5mに設置した場合、下記の通りとなります。
 - ・ ポールを中心に半径15mの円形エリア (全周配光器具用)
 - ・ ポールから左右に各20m (長手方向) × 5m (幅) のエリア (横長配光タイプの場合)
 - ・ 器具照射方向に幅20m × 奥行き10mの長方形エリア (フロント配光器具用)
 ただし、図に示す検知範囲の外側にも達している電波もありますので、検知範囲外の人なども検知することがあります。

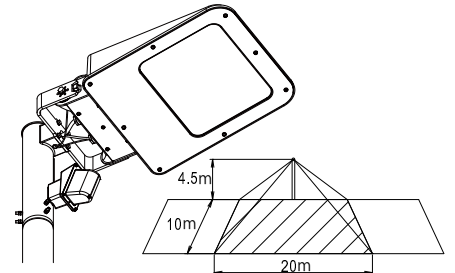
■ 全周配光器具



■ 横長配光器具



■ フロント配光器具



- センサの検知範囲と、器具配光の範囲とは異なります。
- センサは、動体 (移動スピード0.5~2m/sec) を検知するため、静止している場合や動きの小さい場合には検知しないことがあります。
また高速で通過する物体についても検知しないことがあります。
- この器具 (センサ) は動体を検知するため、検知範囲内に下記の機器や動体等がある場合、検知して100%点灯となり、期待通りの省エネ効果が得られないことがありますので、動体がある方向へのセンサ設置は避けてください。
 - (例) ・ 噴水、池、川などの水の動きのあるもの
 - ・ 木や枝葉の揺れ、落ち葉
 - ・ 自動販売機
 - ・ エアコン室外機、換気扇などの可動部位
 - ・ 検知範囲内の照明器具 (銅鉄安定器内蔵品)
 - ・ 検知範囲内にある電線の揺れ
 - ・ 検知範囲内にある旗やのぼりなど動きのあるもの
 - ・ 動体、人体以外の小動物の動き (虫も含む)
 また上記の動体により人の検知範囲が狭くなる場合があります。
- 振動の強い場所ではまれにゆれを検知して100%点灯となり、期待通りの省エネ効果が得られないことがあります。
- センサからの電波を遮蔽する障害物がある場合は、検知できない場合があります。
- 特に下表に示す機器は、センサからの距離を取って回避してください。

対象機器	隔離距離
換気扇 エアコン室外機	直線で10m以上離して器具を設置してください。
自動販売機	直線で5m以上離して器具を設置してください。
旗・のぼり	直線で5m以上離して器具を設置してください。

※換気扇・エアコン室外機は上表の隔離距離を取った場合でも、その動作 (回転・振動等) によって検知する場合があります。

安全に関するご注意

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

⚠ 警告

- 器具の改造をしない。発火・感電・落下の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。感電・発火の原因となります。
- 前面ガラス・グローブに衝撃を加えない。破損する恐れがあります。

⚠ 注意

- お手入れの際には、必ず電源を切って器具が十分冷えてから行って下さい。感電・やけどの原因となります。
- 殺虫剤などの引火物の噴霧は行わないで下さい。発火によるやけどの恐れがあります。
- 布や紙などの燃えやすいもので覆ったり、被せたりしないで下さい。発火の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置場所により環境ストレスは異なります。ご使用期間が15年に満たなくても発錆があればすぐに点検・交換をしてください。また、設置して10年^{※1}経つと外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換を行なってください。※1使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- LED照明器具の光源寿命^{※2}は60,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)
※2光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を想定したものです。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。
- 寒冷地で使用する場合、器具の縁などにつららができることがあります。つららの除去を行ってください。つらら落下による怪我の原因になります。

注) LEDにはバラツキがあるため、LEDユニット内のLED、および同一品番または、シリーズ品番でも商品ごとに発色、明るさが異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

- ・降雨、降雪の場合はセンサ検知し、100%点灯の状態となります。
(降雨量が少ない場合や、雨の降り方によっては、調光状態となる場合もあります。)
- ・この器具は自動初期光束補正機能付照明器具です。定格出力の約70%の光束を保つように設計されています。
- ・電源投入から数秒後に調光状態(初期光束補正状態)となります。始動時の数十秒間は明るさが異なりますが異常ではありません。

保証について

- 保証について・・・この商品の保証期間は1年間です、LED電源は3年間です。但し、消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品(電気部品)について・・・弊社はこの照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れについて

⚠ 注意

- 必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。
- 器具の清掃について・・・汚れを落とす場合は、石けん水にひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
アルカリ系洗剤、シンナー、ベンジンでふかないでください。変色・変質の原因となります。

パナソニック株式会社 ライティング機器ビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニックお客様ご相談センター 0120-878-365 (フリーダイヤル) 0120-878-236 (FAX)

MN1112-060716